

Ver3 調査回答ツール操作マニュアル

製品含有化学物質調査・回答マニュアル(JIG-101A 対応版)
2007. 12. 14 第4版 による

2007年12月18日 第4版

(調査回答ツール Ver3.34 対応)

グリーン調達調査共通化協議会



改訂履歴：

2006.01.10：新規作成（調査回答ツール Ver3.00 対応）

2006.06.09：第2版（調査回答ツール Ver3.11 対応）本マニュアルの記載文の変更は無し。

調査回答ツール Ver3.11 の変更内容（標準型、詳細型共通）

- ①. 使用用途分類を5項目追加（Pb-R-10, 11, 12, 13, 14）
- ②. ドラッグアンドドロップ編集機能の解除を取り止め
- ③. 部品一覧印刷の部数を2部から1部に変更
- ④. 依頼元の部番および名称欄の幅を拡張（日本語ツールのみ）

2006.12.18：第3版（調査回答ツール Ver3.22 対応）

調査回答ツール Ver3.22 の主な変更内容（一部を除き標準型、詳細型共通）

- ①. 使用用途分類を10項目追加（Cd-R-3, Cr-R-2, Pb-R-15~22）
- ②. 入力必須の項目を特定（11項目）
- ③. 入力文字数制限（文字列長）の拡大（17項目）
- ④. その他の機能改良など

（詳細はホームページ掲載資料：調査回答ツール Ver3.22 仕様概略を参照）

2006.03.12：第3.1版（調査回答ツール Ver3.23 対応）

Ver3.22 からの変更点は JGP ファイルの出力条件追加と関連する Warning 表示のみ。
他の変更なし。（6 ページ 4.3 の注意事項：<JGP ファイルの出力条件>を追記）

2007.12.18：第4版（調査回答ツール Ver3.34 対応）

- ①. JIG-101A 対応により物質名称の一部追加・変更
- ②. JIG-101A 対応により使用用途分類の以下の変更
カドミウム；Cd-J-99, Cd-J-0, Cd-R-0 および Cd-RE-98 の 75ppm を 100ppm に変更
オゾン層破壊物質；C04-J-99 および C04-J-98 を削除、C04-J-0 の表記を「全て」に変更
（旧データの C04-J-99, C04-J-98 は C04-J-0 として読み込む）
- ③. 含有化学物質情報画面下部の閾値レベルによる含有判定の説明文に一部追記
（調査回答ツール操作方法の変更なし）

- (注) 本調査回答ツール操作マニュアルは「製品含有化学物質調査・回答マニュアル」を上位文書として、パソコンを使用した電子メールによる電子データの交換を前提に操作方法、データ入力方法を説明しています。

目次

1. Ver3 調査回答ツールの特徴	P. 3
2. ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて	P. 3
3. ツールのダウンロード	P. 4
4. 調査依頼データ (JGP ファイル) の作成	P. 4
4.1 調査回答ツールの起動	P. 4
4.2 基本情報の入力	P. 5
4.3 調査対象アイテムに関する情報の入力	P. 6
4.4 JGP ファイルの保存 (SAVE JGP)	P. 6
4.5 調査回答ツールの終了	P. 7
4.6 JGP ファイルを調査回答元へ送る	P. 7
5. 調査回答データ (JGP ファイル) の作成	P. 8
5.1 調査依頼元からのデータの読み込み (LOAD JGP)	P. 8
5.2 回答元が入力する項目	P. 10
5.3 含有化学物質情報の入力	P. 11
5.3.1 調査回答ツール フォーマット1 (標準型) の場合	P. 12
5.3.2 調査回答ツール フォーマット2 (詳細型) の場合	P. 15
5.4 エラーチェックの実行	P. 18
5.5 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存 (SAVE JGP)	P. 19
5.6 調査回答ツールの終了	P. 20
5.7 JGP ファイルを依頼元へ送る	P. 21
6. フォーマット2 (詳細型) からフォーマット1 (標準型) へのデータコンバート	P. 21
6.1 データコンバート (詳細型⇒標準型) 方法	P. 21
6.2 データコンバート (詳細型⇒標準型) の制約条件	P. 22
7. 旧フォーマットデータ (Ver1, Ver2 の JGP ファイル) の読み込み	P. 22
8. その他の各種ボタンの機能	P. 23
8.1 Copy	P. 23
8.2 Clear	P. 24
8.3 昇順・降順	P. 24
8.4 並べ替え	P. 24
8.5 ADD JGP	P. 25
8.6 見出し変更	P. 25
8.7 部品一覧印刷	P. 26
8.8 印刷	P. 26
8.9 エラーチェック (基本情報画面)	P. 26
8.10 エラー確認 (〃)	P. 27
8.11 エラーチェック (含有化学物質情報画面)	P. 27
8.12 エラー確認 (〃)	P. 27
8.13 CANCEL	P. 27

1. Ver3 調査回答ツールの特徴

①. ツールの種類

2種類の調査回答ツールがありますが、それぞれのツールで作成するJGPファイルは区別するため拡張子を変えています。

- ・調査回答ツール フォーマット1 (標準型) Ver3.XX → JGP1 ファイル (拡張子 jpg1)
- ・調査回答ツール フォーマット2 (詳細型) Ver3.XX → JGP2 ファイル (拡張子 jpg2)

(注) データ確認ツールはありません。

②. 各ツール間のデータ入出力の関係

- 1) (詳細型) のデータは (標準型) ツールで読み込むことによって (標準型) データにコンバートできます (制約あり、21 ページ参照)。逆は不可です。
- 2) 旧フォーマットデータ (Ver1, Ver2) も両 Ver3.XX ツールで読み込めます。
(データ制限あり、23 ページ参照)

③. 新しい機能

- 1) エラーチェック : 各画面に入力したデータのチェックを自動的に行い、エラーとワーニング内容を表示します。
主なチェック内容:
 - ・記入漏れチェック
 - ・年月日チェック
 - ・文字数、桁数チェック
 - ・データ不整合チェック
 - ・全角半角チェック
- 2) 並べ替え : 調査対象アイテムの各項目をキーにしたデータの並べ替えが出来ます。
- 3) 各画面の印刷 : 基本情報/製品・部品・材料情報の画面または化学物質含有情報の画面を印刷出来ます。
- 4) その他 : 他のJGPファイルの追加読み込みなど。

2. ツールのパソコン動作環境、対応バージョンなどについて

①. 対応するエクセルのバージョン

Excel 2000 Windows 版
Excel 2002 Windows 版
Excel 2003 Windows 版

* Excel および Windows は米国 Microsoft corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

②. OS は上記エクセルが対応する Windows (Windows 2000, Windows XP) とします。

③. 言語による対応組み合わせ

- ・日本語版ツールは、日本語版 Excel と日本語版 OS
(英語版ツールで作成した JGP ファイルも読み込めます。)
- ・英語版ツールは、英語版 Excel と英語版 OS、日本語版 Excel と日本語版 Excel とします。
(日本語環境でも英語版ツールが使えます。)

3. ツールのダウンロード

各 Ver3 調査回答ツールは下記の JGPSSI ホームページに無料で公開しています。どなたでも自由にお使いになれますので、ダウンロードしてご自分のパソコンに保存して下さい。

JGPSSI ホームページ：<http://www.jgpssi.jp>

- ・ 調査回答ツール フォーマット 1 (標準型) Ver3. XX. xls ※1
- ・ 調査回答ツール フォーマット 2 (詳細型) Ver3. XX. xls ※1

※1：本ツールは法令への対応、機能の修正などのために改版することがあります。お手元にダウンロードしたファイルが最新版である事を確認の上、お使い下さい。

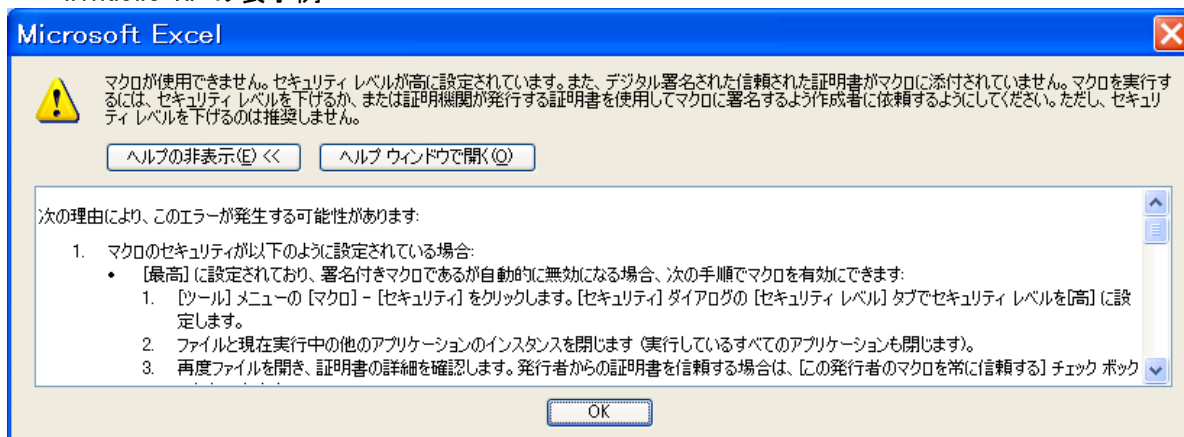
4. 調査依頼元による調査依頼データ (JGP ファイル) の作成

4.1 調査回答ツールの起動

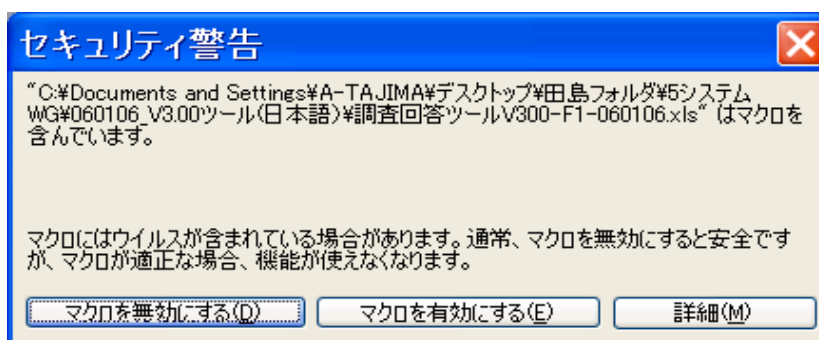
依頼元は使用する調査回答ツールを選び、Excel を起動し「マクロを有効にする」を選択し画面を開きます。

- (注) 本ツールを使用する場合にはマクロのセキュリティーレベルを「中」に設定して下さい。セキュリティーレベルが「高」に設定されていると下記の警告が出ます。[OK] のボタンをクリックすると下記の警告は消えますが、本ツールを使用する事はできません。Excel のメニューのツールを選び、マクロのセキュリティーの画面で設定を「中」に変更してから Excel を再起動し、再度ツールを開いて下さい。

Windows XP の表示例:



下記の表示が出たら、「マクロを有効にする」をクリックして下さい。



次の画面が表示されます。

グリーン調達 調査回答ツール
フォーマット1(標準型) Ver3.23

Copyright(C) JGPSSI & NEC Soft, Ltd.

LOAD JGP ADD JGP SAVE JGP 見出し変更 エラーチェック エラー確認 並び替え 商品一覧印刷

基本情報

整理番号	データフォーマットVer	3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)		
依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名		
DUNSナンバー		
部署名		
担当者名		
電話番号(担当者連絡先)		
FAX番号		
E-MAILアドレス		
依頼元管理項目1		
依頼元管理項目2		
依頼元管理項目3		

依頼元に関する情報

依頼元に関する情報	英語	日本語
会社名		
DUNSナンバー		
部署名		
担当者名		
電話番号(担当者連絡先)		
FAX番号		
E-MAILアドレス		
依頼元管理項目1		
依頼元管理項目2		
依頼元管理項目3		

商品・材料情報

No.	依頼元の 製品・商品の番号	依頼元の 製品・材料の名称	材料クレーンNo.	金庫記号・JIS記 号	メーカー・番色No.	径厚(mm)	色	径(mm)	依頼元管理項目1	依頼元管理項目2	依頼元管理項目3	メーカー名	回答元の製品/ 製品・材料の番号	回答元の製品/ 製品・材料の名称	依頼元管理項目1	依頼元管理項目2	依頼元管理項目3	データ バージョン	改訂日 (YYYY/MM/DD)	標準単位	調査単位 (1/調査単位)	含有割合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコード	化学物質 データ表法	
1																										
2																										
3																										
4																										
5																										
6																										
7																										
8																										
9																										
10																										
11																										
12																										
13																										
14																										
15																										
16																										
17																										

4.2 基本情報の入力（操作方法は両ツール共通です）

依頼元は「製品含有化学物質調査・回答マニュアル」（以降は調査・回答マニュアルと表記します）の5ページを参照して、ツール画面の左上に表示される調査依頼元に関する情報を入力して下さい。

グリーン調達 調査回答ツール
フォーマット1(標準型) Ver3.34

Copyright(C) JGPSSI & NEC Soft, Ltd.

基本情報

整理番号		データフォーマットVer	3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)			
依頼元に関する情報	英語	日本語	
会社名			
DUNSナンバー			
部署名			
担当者名			
電話番号(担当者連絡先)			
FAX番号			
E-MAILアドレス			
依頼元管理項目1			
依頼元管理項目2			
依頼元管理項目3			

【入力例】

整理番号	ABC001	データフォーマットVer	3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2006/01/09		
依頼元に関する情報	英語	日本語	
会社名	***INC.	* * * 株式会社	
DUNSナンバー	*****9		
部署名	***Dept.	* * * 課	
担当者名	Taro Irai	依頼太郎	
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-2***2		
FAX番号	03-5***-2***3		
E-MAILアドレス	taro@****.cp.jp		
依頼元管理項目1			
依頼元管理項目2			
依頼元管理項目3			

(注) 英語の欄に入力する場合には必ず半角英数文字でデータを入力して下さい。

4.3 調査対象アイテムに関する情報の入力（両ツール共通）

調査・回答マニュアルの6ページと7ページを参照して、画面の基本情報の下にある調査対象アイテムに関する情報を必要に応じ入力して下さい。ピンク色のセルは入力必須ですが、依頼元の製品/部品の番号は調査対象アイテムが材料の場合に使用する6項目の全てに入力が無い場合のみ入力必須です。（下図参照）

注意事項：＜JGP ファイルの出力条件＞

調査対象アイテムを特定する下記の7項目のピンク色のセルのいずれにも入力がない場合には、該当する行のデータがJGPファイルに保存されませんのでご注意下さい。ただし、下記の7項目の全てに入力が無い場合でも、10ページの5.2②で示す「メーカー名」、「回答元の製品/部品/材料の番号」のどちらかに入力があれば該当する行のデータがJGPファイルに保存されます。

製品・部品・材料情報

昇順 降順		昇順 降順									依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)					
1													
2													
3													
4													
5													

【入力例】 部品の場合（コンデンサ）

昇順 降順		昇順 降順									依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)		仕様書No.			
1	ABC-123	コンデンサA								ABC-1			
2	ABC-124	コンデンサB								ABC-2			
3	ABC-125	コンデンサC								ABC-3			
4													
5													

【入力例】 材料の場合（プラスチック材料）

昇順 降順		昇順 降順									依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3
No.	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)		仕様書No.			
1		ABS	A100-XXX		12345		白						
2													
3													

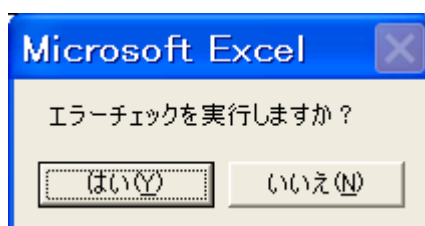
4.4 JGP ファイルの保存

画面の上部にある〔SAVE JGP〕ボタンをクリックして下さい。

【エラーチェックを実行しますか?】 → 〔いいえ〕を選んで下さい。

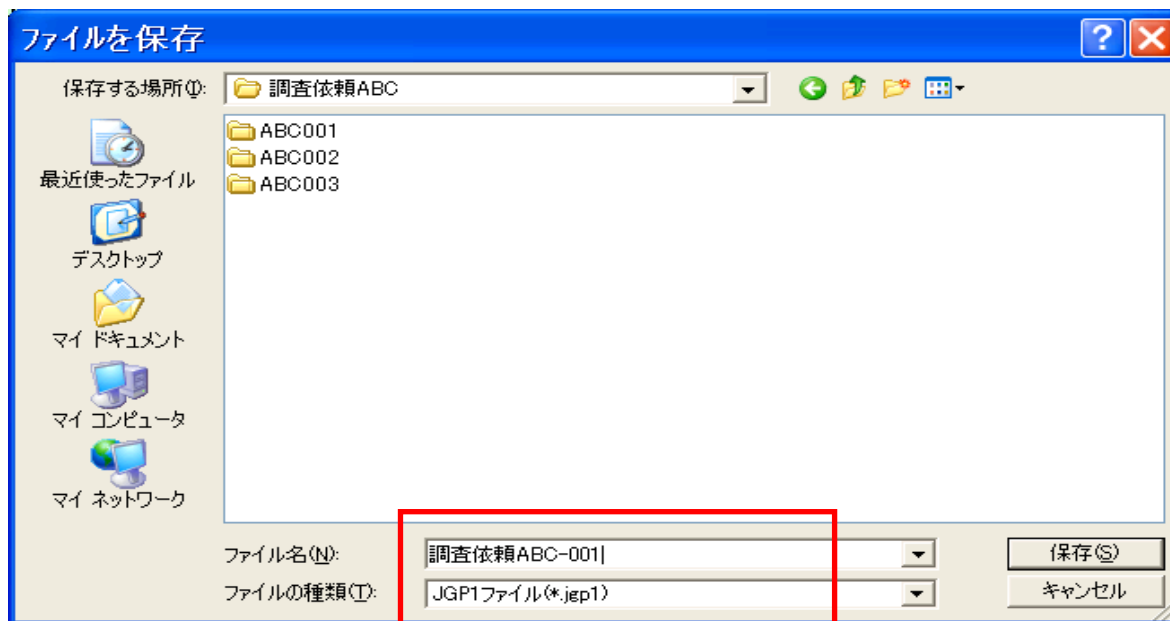
注意事項：〔はい〕でエラーチェックを実行すると、回答元の情報（入力必須項目）が未入力であるため、エラーが表示されます。調査依頼用のJGPファイルを作成する際のSAVE JGPではエラーチェックは実行しないで下さい。

ただし、4.3の注意事項：＜JGP ファイルの出力条件＞を確認して下さい。

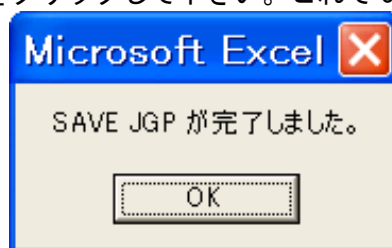


次の画面が出ますので、保存先フォルダを指定し、ファイル名を付けて保存して下さい。各ツールごとに jgp1 または jgp2 の拡張子が自動的に付きます。フォーマット 1 (標準型) は jgp1、フォーマット 2 (詳細型) は jgp2 です。

下記の画面は調査回答ツール フォーマット 1 (標準型) の例です。ファイルの種類は JGP1 ファイルが自動的に設定されています。

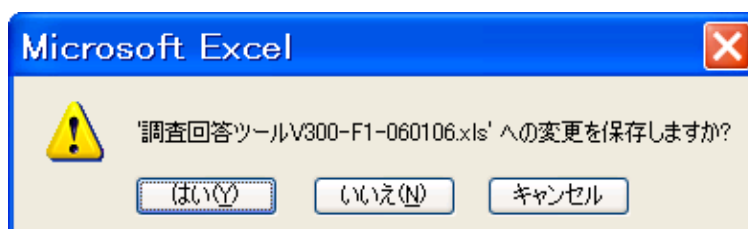


以下の表示が出たら [OK] をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



4.5 調査回答ツールの終了

ツールバーから“ファイル” → “終了”、または“閉じる”を選択して下さい。以下の画面が表示されます。[はい] を選ぶと、入力データがツールに上書き保存されます。



4.6 JGP ファイルを調査回答元へ送る (調査依頼)

調査依頼元は基本情報や調査対象アイテムの情報を入力した JGP ファイルを回答元に送って下さい。

(注) 原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

5. 回答元による調査回答データ（JGP ファイル）の作成

5.1 調査依頼元からのデータの読み込み（LOAD JGP）

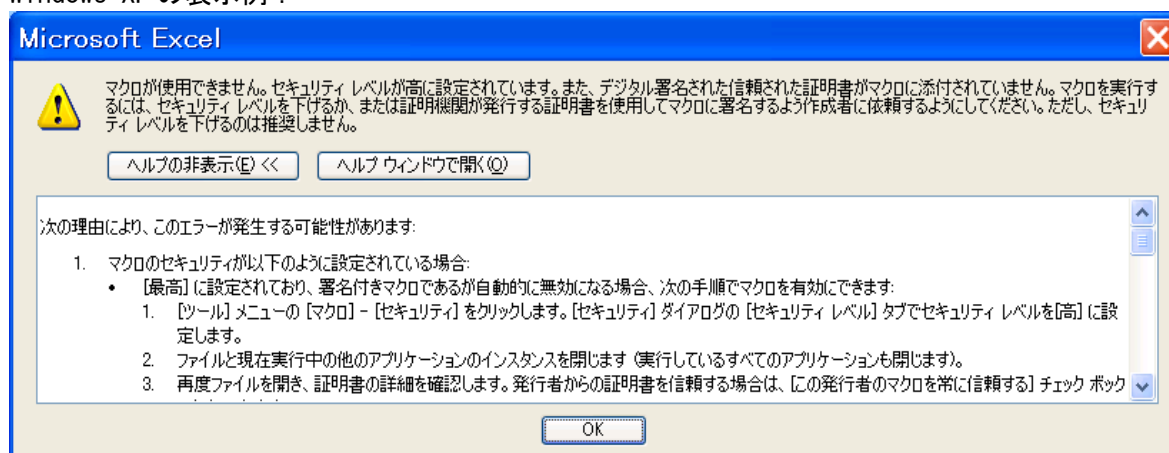
- ① 調査依頼データの JGP ファイルをご自分のパソコンに保存して下さい。
- ② 依頼元から受け取った JGP ファイルの種類を確認し調査回答ツールを選んで起動して下さい。

依頼元からの JGP ファイルの拡張子が jpg1 の場合にはフォーマット 1（標準型）Ver3. XX を、jpg2 の場合はフォーマット 2（詳細型）V3. XX を選択して下さい。
但し、回答を標準型データとして作成する場合は、jpg2 データをフォーマット 1（標準型）Ver3. XX で読み込むことが可能です。（本操作マニュアル 21 ページ参照）

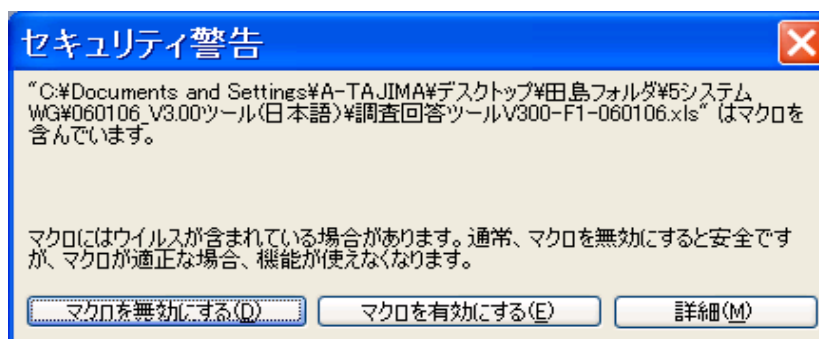
（注）本ツールを使用する場合にはマクロのセキュリティーレベルを「中」に設定して下さい。

セキュリティーレベルが「高」に設定されていると下記の警告が出ます。[OK] のボタンをクリックすると下記の警告は消えますが、本ツールを使用する事はできません。Excel のメニューのツールを選び、マクロのセキュリティーの画面で設定を「中」に変更してから Excel を再起動し、再度ツールを開いて下さい。

Windows XP の表示例：



下記の表示が出たら、[マクロを有効にする] をクリックして下さい。



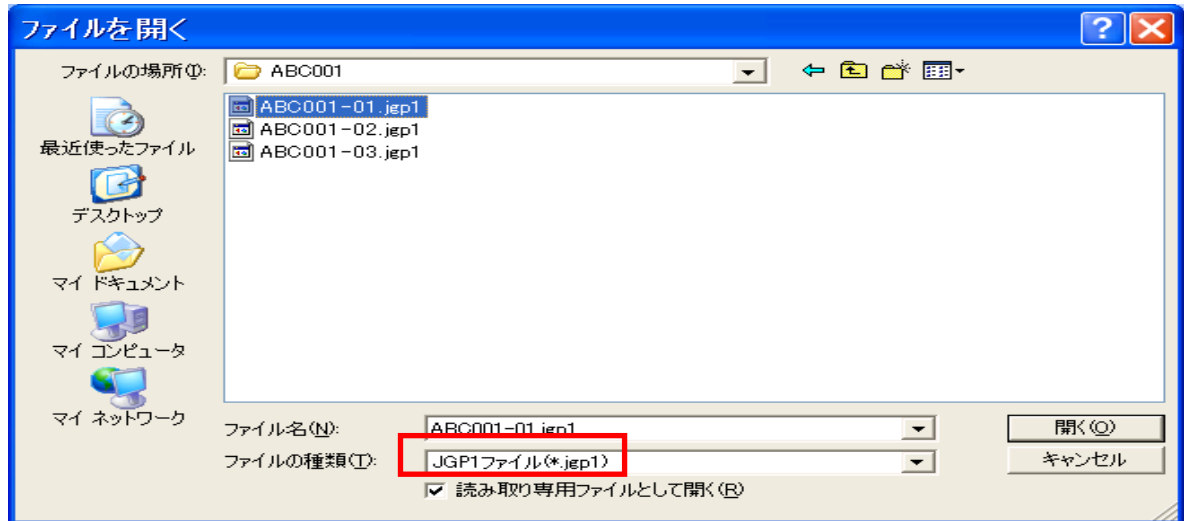
以下の画面が表示されます。フォーマット1（標準型）の例

③ この画面の上部にある〔LOAD JGP〕ボタンをクリックして下さい。下記の画面が出ます。

下記の画面は調査回答ツール フォーマット1（標準型）を使用している場合です。

ファイルの種類は JGP1 ファイルが自動的に設定されています。

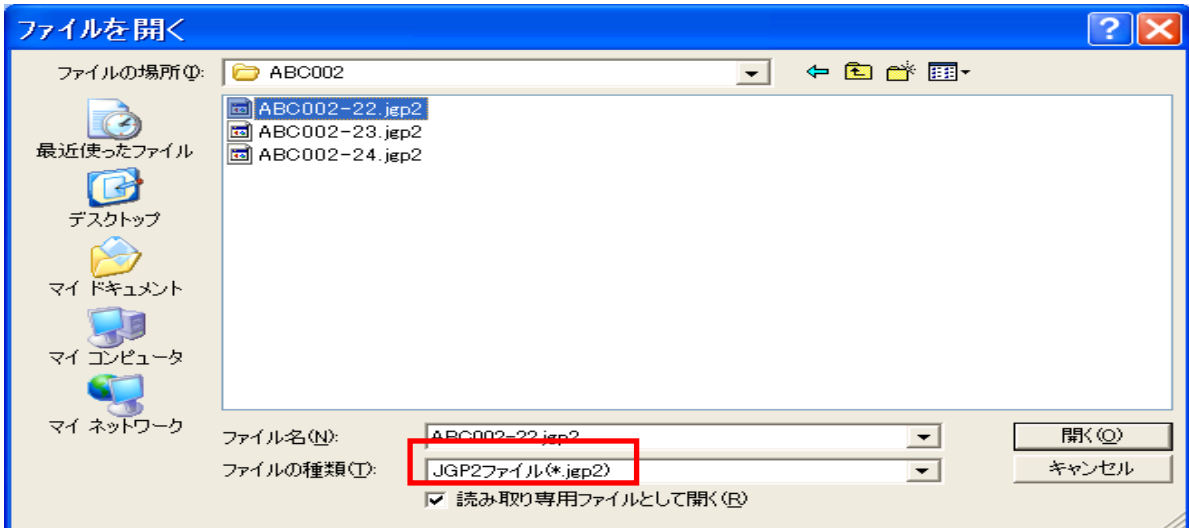
(旧フォーマットデータを読み込む場合にはファイルの種類を JGP ファイルに変更して下さい。)



下記の画面は調査回答ツール フォーマット2（詳細型）を使用している場合です。

ファイルの種類は JGP2 ファイルが自動的に設定されています。

(旧フォーマットデータを読み込む場合にはファイルの種類を JGP ファイルに変更して下さい。)



次に読み込む JGP ファイルを指定し「開く」をクリックして下さい。
 調査依頼データが調査回答ツールに読み込まれ、以下の表示が出ますので「OK」をクリックして下さい。



下図の様に依頼元に関する情報、調査依頼対象アイテムの情報が読み込まれます。

この画面はフォーマット1（標準型）、フォーマット2（詳細型）共に各項目の表示内容は同じです。

**グリーン調達 調査回答ツール
 フォーマット1(標準型) Ver3.34**

Copyright(C) JGPSSI & NEC Soft, Ltd.

LC

基本情報

整理番号	ABC001	データフォーマットVer	3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)	2006/01/09		
依頼元に関する情報		英語	日本語
会社名	***INC.	***株式会社	
DUNSナンバー	*****9		
部署名	***Dept.	***課	
担当者名	Taro Irai	依頼太郎	
電話番号(担当者連絡先)	03-5***-2***2		
FAX番号	03-5***-2***3		
E-MAILアドレス	taro@***.cp.jp		
依頼元管理項目1			
依頼元管理項目2			
依頼元管理項目3			

製品・部品・材料情報

No.	(昇順) (降順)		(昇順) (降順)		材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色
	依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称							
1	ABC-123-001	大型スイッチユニット							
2									
3									
4									

5.2 回答元が入力する項目（基本情報、調査アイテム情報など）

- ① 回答元に関する情報の入力（ピンク色のセルは入力必須項目です。）

会社名など回答元に関する情報を入力して下さい。（調査・回答マニュアルの6ページ参照）

【入力例】

回答元記入日(YYYY/MM/DD)			
回答元に関する情報		英語	日本語
会社名			XXX商事
DUNSナンバー			
住所			東京都港区〇〇〇
部署名			###課
記入者名			XXX次郎
電話番号	03-1***-9***3		
FAX番号	03-1***-9***3		
E-MAILアドレス	iuro@XXX.co.jp		
依頼元管理項目4			
依頼元管理項目5			
依頼元管理項目6			

(注)・英語の欄に入力する場合には必ず半角でデータを入力して下さい。

- ・依頼元管理項目は原則依頼元が入力する項目です。入力データがある場合は変更しないで下さい。

- ② 回答元のメーカー名、番号、名称を入力して下さい。(調査・回答マニュアルの7ページ参照)
(回答元項目1,2,3は回答元のメモとして使用できます。)

【入力例】

メーカー名	回答元の製品/ 部品/材料の番号	回答元の製品/ 部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3
〇〇電気	abc-123	スイッチユニット			

- ③ データバージョン、改訂日を入力して下さい。データバージョンに該当する情報がない場合、これらは未入力で結構です。
- ④ 調査単位を選択し、単位あたりの総質量を入力して下さい。
・プルダウンメニューから調査単位を選択して下さい。
・設定された調査単位あたりの総質量をgで入力して下さい。
(例) 調査単位が個の場合 → 調査対象アイテム1個あたりの質量
調査単位がkgの場合 → 1kgあたりの質量 = 1000g

【入力例】

データバージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定
		個	2500.000	

(注) 「含有総合判定」は自動表示されます。手入力する項目ではありません。

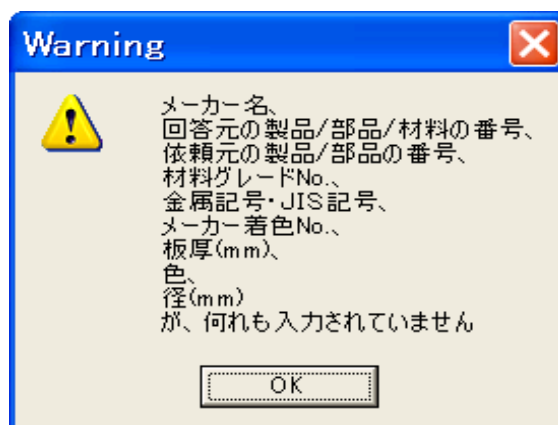
5.3 含有化学物質情報の入力

基本情報画面にて、入力したい調査対象アイテムの行の〔Input〕ボタンをクリックし、化学物質情報の入力画面に移って下さい。(下図参照)

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
個	2500.000		Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

- (注) 〔Input〕をクリックすると以下のワーニング表示が出る場合があります。
(調査対象アイテムを特定する情報が何も入力されていない場合です。)

〔OK〕をクリックすると化学物質情報の入力画面に移ります。



(注) 含有化学物質情報の入力画面は各調査回答ツールで異なりますので各ツール毎に説明します。

5.3.1 調査回答ツール フォーマット1 (標準型) の場合の含有化学物質情報入力

下図の様に画面上部には前画面の基本情報や調査アイテムの情報が自動的に表示されます。

基本情報/製品・部品・材料情報			OK			CANCEL			エラーチェック			エラー確認			印刷		
整理番号	データフォーマットVer	回答元記入日															
ABC001	3.21	2005/12/25															
依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料グレードNo.	金属記号・JIS記号	メーカー着色No.	板厚(mm)	色	径(mm)	依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3							
ABC-123-001	大型スイッチユニット																
メーカー名	回答元の製品/部品/材料の番号	回答元の製品/部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データバージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)								
〇〇電気	abc-123	スイッチユニット						個	2500.000								

含有化学物質情報										
物質群分類 No.	物質群	閾値レベルによる含有判定 (Y:含有、N:非含有)	総含有量 (mg)	使用用途分類 (該当項目の右セルにチェックしてください)	(※ 該当用途)	使用用途・目的	使用部位	最大物質群含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項	
A05	カドミウム/カドミウム化合物	[Red Box]		Gr-J-99 : 75ppmを超えるカドミウムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	<input type="checkbox"/>					
				Gr-J-0 : 75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(※右欄に詳細記入)	<input type="checkbox"/>					
				Gr-R-0 : 75ppm以下のカドミウムを含むその他の用途(※右欄に詳細記入)	<input type="checkbox"/>					
				Gr-N-1 : E11指針(76/769/EEC)の改正指針(7/335/EEC)に基づき禁止された用途を除く電気接点とめっき	<input type="checkbox"/>					
				Gr-N-2 : 光学ガラス、フィルターガラス	<input type="checkbox"/>					
				Gr-N-3 : ホウケイ酸ガラスへのエマルジョン印刷インキに含まれるカドミウム	<input type="checkbox"/>					
				Gr-E-1 : 揮発性有機溶剤	<input type="checkbox"/>					
				Gr-E-2 : 電気自動車用のバッテリー	<input type="checkbox"/>					
				Gr-E-3 : 運転補助装置に使用されるガラス基材中の光学製品 (カメラ等)	<input type="checkbox"/>					
				Gr-RE-33 : 75ppm以下のカドミウムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	<input type="checkbox"/>					
A07	六価クロム/六価クロム化合物	[Red Box]		Gr-J-99 : 1000ppmを超える六価クロムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	<input type="checkbox"/>					
				Gr-J-0 : 1000ppmを超える六価クロムを含むその他の用途(※右欄に詳細記入)	<input type="checkbox"/>					
				Gr-R-0 : 1000ppm以下の六価クロムを含むその他の用途(※右欄に詳細記入)	<input type="checkbox"/>					
				Gr-R-1 : 吸収型冷蔵庫中のカーボンスチール冷却システムの防錆剤	<input type="checkbox"/>					
				Gr-R-2 : 指令2002/96/ECのカテゴリ3に属する設備 (ITおよび通信設備) のうち、 有害化学物質およびフッ素の漏洩防止のための防炎装置(処理) および 「電磁波」シールドに含まれる六価クロム。除外は2007年1月1日まで認められる。	<input type="checkbox"/>					
				Gr-E-1 : 防錆コーティング (下記Gr-2以外)	<input type="checkbox"/>					
				Gr-E-2 : 車体部ボルトナット組立て後の防錆コーティング	<input type="checkbox"/>					
				Gr-E-3 : キャラバン車の(吸着)冷蔵庫	<input type="checkbox"/>					
				Gr-RE-99 : 1000ppm以下の六価クロムを含む: 不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	<input type="checkbox"/>					

- ① 各物質群の「閾値レベルによる含有判定」の欄をクリックするとプルダウンメニューが現れます。必ずYまたはNを選択して下さい。(24物質群の全てに入力必須です。)
Y及びNは大文字もしくは小文字での直接入力も出来ます。

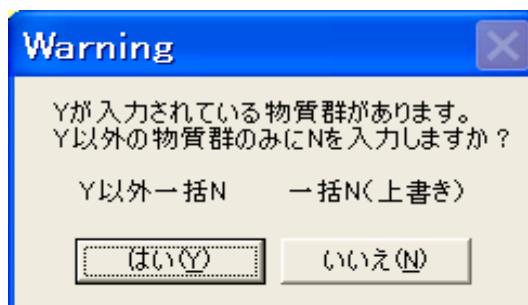
Y/Nの判定は調査・回答マニュアルの13ページの含有判定フローを参照して下さい。

- (注)1 含有判定の基準はレベルA、レベルBで異なりますのでご注意ください。
- (注)2 含有判定がYの場合、②以降の項目についてご回答下さい。(一部任意)
- (注)3 含有判定がNの場合であっても、含有を把握している場合には総含有量、使用用途分類などのご回答をお願いします。

〔一括N〕ボタンの機能について:

含有化学物質情報			
		一括N	
物質群分類 No.	物質群	閾値レベルによる含有判定 (Y:含有、N:非含有)	総含有量 (mg)

- ・ 24物質群の全ての含有判定が空欄の場合に一括Nボタンをクリックすると、24物質群すべての含有判定にNが自動入力されます。
- ・ 24物質群のどれか1つに既にYが入力されている場合に一括Nボタンをクリックすると、以下のワーニング表示が出ます。



〔はい〕をクリックすると、既にYが入力されている物質群以外の物質群の含有判定にNが自動入力されます。「Y以外一括N」

〔いいえ〕をクリックすると、既にYが入力されている物質群も含めて全ての物質群の含有判定にNが入力されます。「一括N(上書き)」

- ② 前の画面の「調査単位」で設定された単位あたりに含有している化学物質の総含有量(mg)を有効数字2桁(3桁目は四捨五入)で入力して下さい。総含有量については小数点第3位までしか表示されませんが、正しい総含有量を入力して下さい。
(含有判定がYの場合はレベルA、B共に入力必須です。)

		[表示]
(例)	2549mgの場合：2500mg	2500.000
	1.1456mgの場合：1.1mg	1.100
	0.00214mgの場合：0.0021mg	0.002
	0.1mgの場合：0.1mg	0.100

- ・ 入力する値は把握している含有量の最大値とします。
- ・ 金属化合物の含有量は、含有する化合物の量ではなく、化合物の中に含まれる金属元素量に換算した数値を入力して下さい。

(調査・回答マニュアルの別紙5、JIG例示物質リストの金属換算係数参照)

【入力例】

物質群分類 No.	物質群	閾値レベルによる含有判定 (Y:含有、N:非含有)	総含有量 (mg)
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	490.000

- ③ 各物質群ごとに表示されている使用用途分類から該当する項目を選んで下さい。

- ・ 各項目の右の該当用途欄の“□”の右をクリックするとチェックマークが表示されます。
(含有判定Yの場合は入力必須です。) 下図の入力例参照

- ・ 調査対象アイテムの含有で該当する全ての使用用途分類を選択し、チェックマークを表示させて下さい。画面に表示される使用用途分類の内容は、調査・回答マニュアル(第4版)の別紙2、別紙3の使用用途分類リストと同じです。各項目はコード化され、意味付けされています。

このコードの中間のアルファベットのRはRoHS指令、EはELV指令、REは両指令に関連する項目である事を意味しています。

尚、該当する詳細な使用用途がリストにない場合には、Cd-J-0などの”その他の用途”を選び、その趣旨を「含有化学物質に関する追記事項」に記入して下さい。

【入力例】

使用用途分類 (該当項目の右セルにチェックしてください)	(*: 該当用途)
Cd-J-99 : 75ppmを超えるカドミウムを含む：不純物／リサイクル材料／コンタミネーション	<input checked="" type="checkbox"/>
Cd-J-0 : 75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	<input checked="" type="checkbox"/>
Cd-R-0 : 75ppm以下のカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	<input type="checkbox"/>
Cd-R-1 : EU指令76/769/EECの改正指令91/338/EECに基づき禁止された用途を除く電気接点とめっき	<input type="checkbox"/>
Cd-R-2 : 光学ガラス、フィルターガラス	<input type="checkbox"/>
Cd-R-3 : ホウケイ酸ガラスへのエナメル塗布用印刷インキに含まれるカドミウム	<input type="checkbox"/>
Cd-E-1 : 厚膜ペースト	<input type="checkbox"/>
Cd-E-2 : 電気自動車のバッテリー	<input type="checkbox"/>
Cd-E-3 : 運転補助装置に使用されるガラス基材中の光学部品 (カメラ等)	<input type="checkbox"/>
Cd-RE-98 : 75ppm以下のカドミウムを含む：不純物／リサイクル材料／コンタミネーション	<input type="checkbox"/>

④ 使用用途・目的、使用部位、最大均質材料含有率、追記事項の入力

- ・ 使用用途・目的にはその化学物質を使用した意図を簡単に記載して下さい。

例 1) 安定剤、可塑剤、着色剤、難燃剤、防錆、はんだ成分等
 例 2) 主成分、熱安定性向上、電気特性向上、機械特性向上等

- ・ 使用部位とは部品の構成単位の中で調査対象化学物質を含有している部位のことです。

使用部位の名称は仕様書、図面に記載されている名称、調達先での呼び方、一般的な名称を記載して下さい。また、同一化学物質が複数の部位に含有されている場合には、主要な使用部位を記載し、末尾に「等」と記入下さい。

(調査・回答マニュアルの9ページ、10ページおよび別紙4. 部位の例を参照して下さい。)

(注) 使用用途分類にチェックマークを付けた項目は使用用途・目的および使用部位の記載が必須です。又、各項目に入力できる文字数の制限は80 Byte までです。(全角で40文字まで)

- ・ 最大含有均質材料含有率(ppm)の入力 (レベルAは入力必須項目です。)

レベルA、B共に、含有化学物質の含有部位の均質材料(homogeneous material)に対しての含有率(ppm)を入力して下さい。複数部位に同一の使用用途分類がある場合には最大値を入力して下さい。

- ・ 含有化学物質に関する追加の情報があれば、追記事項の欄に記載して下さい。

入力できる文字数の制限は80 Byte までです。(全角で40文字まで)

【入力例】

使用用途・目的	使用部位	最大均質材料含有率(ppm)	含有化学物質に関する追記事項
黄銅中の不純物／安定剤不純物	スイッチ端子／樹脂フレーム	104	黄銅についてはRoHS基準(100ppm)以下にコントロール／閾値以下へのコントロールを検討中
安定化／耐蝕表面処理	接点／フレーム表面めっき部	152	

(注) 24 物質群全てについて上記までの必要事項の入力が完了したら、次は18ページの「5.4 エラーチェックの実行」に進んで下さい。

5.3.2 調査回答ツール フォーマット2（詳細型）の場合の含有化学物質情報入力

下図の様に前の画面の基本情報や調査アイテムの情報が自動的に表示されます。

基本情報/製品・部品・材料情報															
管理番号	データフォーマットVer			回答元記入日		OK		CANCEL		エラーチェック		エラー確認		印刷	
依頼元の製品/部品の番号	依頼元の製品/部品/材料の名称	材料クレーンNo.	金属記号・JIS記号	メーカー番号No.	板厚(mm)	色	径(mm)	依頼元項目1	依頼元項目2	依頼元項目3					
メーカー名	回答元の製品/部品/材料の番号	回答元の製品/部品/材料の名称	回答元項目1	回答元項目2	回答元項目3	データバージョン	改訂日 YYYY/MM/DD	調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)						

物質群中の閾値レベルの入力必須

含有化学物質情報												
物質群分類No.	物質群	閾値レベルによる含有判定 (Y:含有, N:非含有)	追加	削除	含有量 (mg)	使用用途分類 (該当項目をチェックしてください)	(←該当用途)	使用用途・目的	使用部位	均質材料 含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項	
A05	カドミウム/カドミウム化合物		追加									
A07	六価クロム/六価クロム化合物		追加									
A09	鉛/鉛化合物		追加									
A10	水銀/水銀化合物		追加									
A17	塩化トリブチルスズ(TBT)		追加									
A18	トリブチルスズ(TBT)及びトリフェニルスズ(TPF)		追加									
B02	ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)		追加									
B03	ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類)		追加									
B06	ポリ塩化ビフェニル類(PCB類)		追加									
B08	ポリ塩化ブチル(塩素量が3以上)		追加									
B09	有機型塩化ワラファン(炭素数10~13)		追加									
C01	アスベスト類		追加									
C02	一部のアゾ染料・顔料		追加									
C04	ナフン・難燃性物質		追加									
C06	放射性物質		追加									
A01	アンチモン/アンチモン化合物		追加									
A02	ヒ素/ヒ素化合物		追加									
A03	ベリリウム/ベリリウム化合物		追加									
A04	ビスマス/ビスマス化合物		追加									
A11	ニッケル		追加									
A13	セレン/セレン化合物		追加									
B07	ポリ塩化ビニル(PVC)		追加									
B08	臭素系難燃剤		追加									
C05	一部のフルオロエチレン		追加									

* 使用用途分類項目(右欄に詳細記入)の右欄とは、使用用途・目的、使用部位、含有化学物質に関する追記事項の欄を指す。

- ① 各物質群の「閾値レベルによる含有判定」の欄をクリックするとプルダウンメニューが現れます。必ずYまたはNを選択して下さい。(24物質群の全てに入力必須です。)
Y及びNは大文字もしくは小文字での直接入力も出来ます。
Y/Nの判定は調査・回答マニュアルの13ページの含有判定フローを参照して下さい。

- (注)1 含有判定の基準はレベルA、レベルBで異なりますのでご注意ください。
 (注)2 含有判定がYの場合は、②以下の各項目にご回答下さい。
 (注)3 含有判定がNの場合であっても、含有を把握している場合には含有量、使用用途分類などのご回答をお願いします。
 (注)4 レベルA、レベルB共に同一化学物質群の含有が複数部位に亘る場合は〔追加〕ボタンをクリックして含有化学物質情報を入力する行を追加し、部位ごとに回答して下さい。〔追加〕ボタンを押すごとに1行ずつ追加されます。
 (注)5 既に入力したデータを削除する場合は、データ削除したい行の〔削除〕欄をクリックするとプルダウンメニューが現れるのでVを選択して下さい。削除したい行すべてにVを表示した状態で〔削除〕ボタンをクリックすると、選択された行のすべてのデータが削除されます。追加行は行自体が削除されます。(下図参照)

物質群分類No.	物質群	閾値レベルによる含有判定 (Y:含有, N:非含有)	追加	削除	含有量 (mg)
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	追加	V	
A07	六価クロム/六価クロム化合物	N	追加		
A09	鉛/鉛化合物	Y	追加		
A10	水銀/水銀化合物	N	追加		

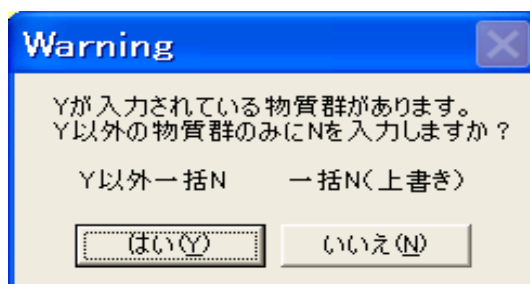
追加できる行数は 24 物質群で合計 50 行までです。50 行を超えて追加すると以下の表示が出ます。この場合、詳細型ツールでの回答は不可能となりますので、この先の対応方法については調査依頼元へご確認下さい。



〔一括N〕ボタンの機能について:

含有化学物質情報						
			一括N			
レベル	物質群 分類 No.	物質群	閾値レベルによる 含有判定 (Y:含有、N:非含有)	追加	削除	含有量 (mg)

- ・ 24 物質群の全ての含有判定が空欄の場合に一括Nボタンをクリックすると、24 物質群すべての含有判定にNが自動入力されます。
- ・ 24 物質群のどれか 1 つに既にYが入力されている場合に一括Nボタンをクリックすると、以下のワーニング表示が出ます。



〔はい〕をクリックすると、既にYが入力されている物質群以外の物質群の含有判定にNが自動入力されます。「Y以外一括N」

〔いいえ〕をクリックすると、既にYが入力されている物質群も含めて全ての物質群の含有判定にNが入力されます。「一括N(上書き)」

- ② 前の画面の「調査単位」で設定された単位あたりに含有している化学物質の部位毎の含有量を mg 単位で、有効数字 2 桁 (3 桁目は四捨五入) で入力して下さい。含有量については小数点第 3 位までしか表示されませんが、正しい含有量を入力して下さい。
(含有判定がYの場合はレベルA、B共に入力必須です。)

		[表示]
(例)	2549mg の場合	: 2500mg 2500.000
	1.1456mg の場合	: 1.1mg 1.100
	0.00214mg の場合	: 0.0021mg 0.002
	0.1mg の場合	: 0.1mg 0.100

- ・入力する値は把握している含有量の最大値とします。
- ・金属化合物の含有量は、含有する化合物の量ではなく、化合物の中に含まれる金属元素量に換算した数値を入力して下さい。
(調査・回答マニュアルの別紙5. JIG 例示物質リストの金属換算係数参照)

③ 部位毎の含有量を入力した右の「使用用途分類」のセルを(ダブル)クリックすると使用用途分類のプルダウンリストが表示されますので、該当する項目を選んで下さい。「該当用途」欄に*マークが表示されます。(含有判定Yの場合は入力必須です。)

- ・調査対象アイテムの含有で該当する全ての使用用途分類を選択し、*マークを表示させて下さい。画面に表示される使用用途分類の内容は、調査・回答マニュアル(第4版)の別紙2、別紙3の使用用途分類リストと同じです。各項目はコード化され、意味付けされています。

このコードの中間のアルファベットのRはRoHS指令、EはELV指令、REは両指令に関連する項目である事を意味しています。

尚、該当する詳細な使用用途がリストにない場合には、Cd-J-0などの”その他の用途”を選び、その趣旨を「含有化学物質に関する追記事項」に記入して下さい。

【入力例】 行が追加されています。

物質群分類 No.	物質群	閾値レベルによる含有判定 (Y:含有, N:非含有)	追加	削除	含有量 (mg)	使用用途分類 (該当項目をチェックしてください)	(*:該当用途)
A05	カドミウム/カドミウム化合物	Y	追加		15.000	Cd-J-99 :75ppmを超えるカドミウムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	*
					150.000	Cd-J-99 :75ppmを超えるカドミウムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	*
					24.000	Cd-J-0 :75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	*
					300.000	Cd-J-0 :75ppmを超えるカドミウムを含むその他の用途(*右欄に詳細記入)	*
A07	六価クロム/六価クロム化合物	N	追加		Cr-RE-98 :1000ppm以下の六価クロムを含む:不純物/リサイクル材料/コンタミネーション	*	
A09	鉛/鉛化合物	Y	追加	700.000	Pb-R-2 :高融点はんだ(85wt%を超える鉛を含む鉛合金)	*	
A10	水銀/水銀化合物	N	追加				
A17	酸化トリブチルスズ(TBTO)	N	追加				
A18	トリブチルスズ(TBT)及びトリフェニルスズ(TPT)	N	追加				
B02	ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)	N	追加				

④ 使用用途・目的、使用部位、含有率、追記事項の入力

- ・使用用途・目的にはその化学物質を使用した意図を簡単に記載して下さい。
例1) 安定剤、可塑剤、着色剤、難燃剤、防錆、はんだ成分等
例2) 主成分、熱安定性向上、電気特性向上、機械特性向上等
- ・使用部位とは部品の構成単位の中で調査対象化学物質を含有している部位のことです。
使用部位の名称は仕様書、図面に記載されている名称、調達先での呼び方、一般的な名称を記載して下さい。
調査・回答マニュアルの9ページ、10ページおよび別紙4. 部位の例を参照して下さい。
(注) 部位は均質材料が分る様に記入して下さい。

(注) 使用用途分類の内容が表示され*マークが付いた項目は使用用途・目的および使用部位の記載が必須です。又、各項目に入力できる文字数の制限は80 Byte までです。(全角では40文字まで)

- ・含有率(ppm)の入力 (レベルAは入力必須です。)
レベルA、B共に、含有化学物質の含有部位の均質材料(homogeneous material)に対しての含有率(ppm)を入力して下さい。

- ・含有化学物質に関する追加の情報があれば、追記事項の欄に記載して下さい。

入力できる文字数の制限は 80 Byte までです。(全角では 40 文字まで)

(注) 文字数がセルの幅を超えると右側にはみ出して表示されます。

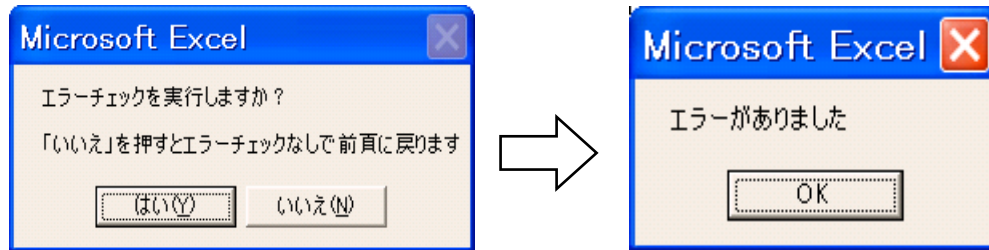
【入力例】

(*: 該当用途)	使用用途・目的	使用部位	均質材料含有率 (ppm)	含有化学物質に関する追記事項
*	黄銅中の不純物	スイッチ端子	90	RoHS基準以下にコントロール
*	安定剤不純物	樹脂ケース	104	閾値以下へのコントロール検討中
*	安定化	接点	152	閾値以下へのコントロール検討中
*	耐蝕表面処理	フレーム表面めっき部	85	閾値以下へのコントロール検討中
*	金属表面処理の不純物	筐体	30	報告の義務はありませんが、把握して
*	接合用	部品内部	850000	

5.4 エラーチェックの実行 (操作方法は両ツール共通です。)

24 物質群全てについて必要事項の入力が終了したら画面の上部にある [OK] ボタンをクリックして下さい。以下の図の様にエラーチェックを実行するかどうかの質問があります。

[はい] をクリックするとエラーチェックが実行されます。[いいえ] をクリックするとエラーチェックなしで前頁に戻ります。(最終回答作成の場合は必ず [はい] で実行して下さい。)



- ・エラーがあると、上図の様に「エラーがありました」が表示されます。
- ・[OK] をクリックするとエラーチェックを実行した結果の、エラーまたはワーニングの内容が表示されます。
以下はエラーチェックの結果の表示例です。
- ・[戻る] のボタンをクリックすると元画面に戻ります。エラー (Error) の内容を修正して再度エラーチェックを実行して下さい。

[Error No.1006](A05/Cd-J-0/使用用途・目的)入力必須項目が空欄となっています。
 [Error No.1006](A05/Cd-J-0/使用部位)入力必須項目が空欄となっています。
 [Warning No.2001](A07)[含有判定]が'N'、[使用用途分類]が選択されている項目の[総含有量]が未入力です。
 [Error No.1010](A10)[含有判定]に'Y'か'N'を入力してください。
 [Error No.1000](A01/含有化学物質に関する追記事項)文字列が長すぎます。80byte以下で入力してください。

戻る

- ・エラーチェックの結果、エラー (Error) およびワーニング (Warning) が何も検出されなかった場合は基本情報の画面に戻ります。
- ・エラーチェックの結果でワーニング (Warning) のみが検出された場合は以下の表示が出ます。
[はい] をクリックするとワーニング内容を表示し、[いいえ] をクリックすると基本情報の画面に戻ります。



5.5 入力した内容の調査回答フォーマットへの保存 (SAVE JGP)

(操作方法は両ツール共通です。)

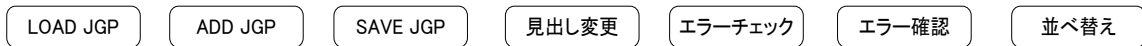
- ① 化学物質含有情報の画面のエラーチェックの結果で問題がなければ基本情報の画面に戻り、「含有総合判定」の欄にYまたはNが自動的に表示されます。

調査対象アイテムについて、24 物質群の含有判定でYが1つ以上あれば含有総合判定はYが自動表示されます。24 物質群全ての含有判定がNの場合のみ含有総合判定にNが表示されます。(下図表示例参照) (注) 含有総合判定はエラーチェックの対象項目です。

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質情報入力	化学物質データコピー	化学物質データ消去
個	2500.000	N	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

- ② 回答元に関する情報の一番下にある「回答に関する追加情報」に、必要であれば回答全般に関するコメントなどを入力して下さい。(下図の画面表示例参照)

200 Byte まで入力できます。(全角では 100 文字まで)

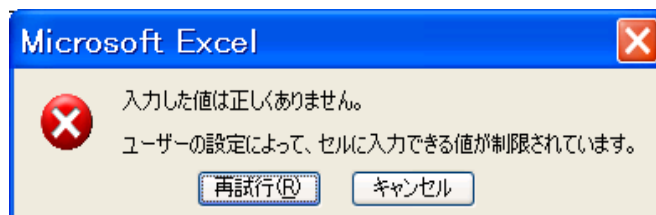


回答元記入日(YYYY/MM/DD) [2006/02/12]

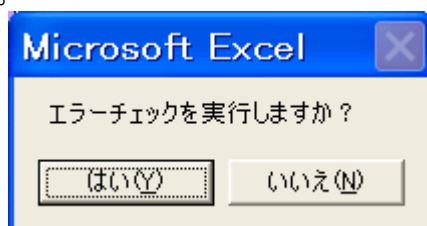
回答元に関する情報	英語	日本語
会社名		ABC製作所
DUNSナンバー		
住所		東京都豊島区00町XX丁目
部署名		グリーンXX課
記入者名		00太郎
電話番号	03-22XX-04XX	
FAX番号		
E-MAILアドレス	XX-taro@abc.co.jp	
依頼元管理項目4		
依頼元管理項目5		
依頼元管理項目6		
回答に関する追加情報(英語)		
回答に関する追加情報(日本語)	調査依頼いただきましたアイテムは0000に対応検討中です。	

- ③ 回答元記入日が入力されているか確認して下さい。入力必須項目です。(上図参照)

入力データが正しくない場合には下記が表示されますので「再試行」をクリックし入力データを訂正して下さい。



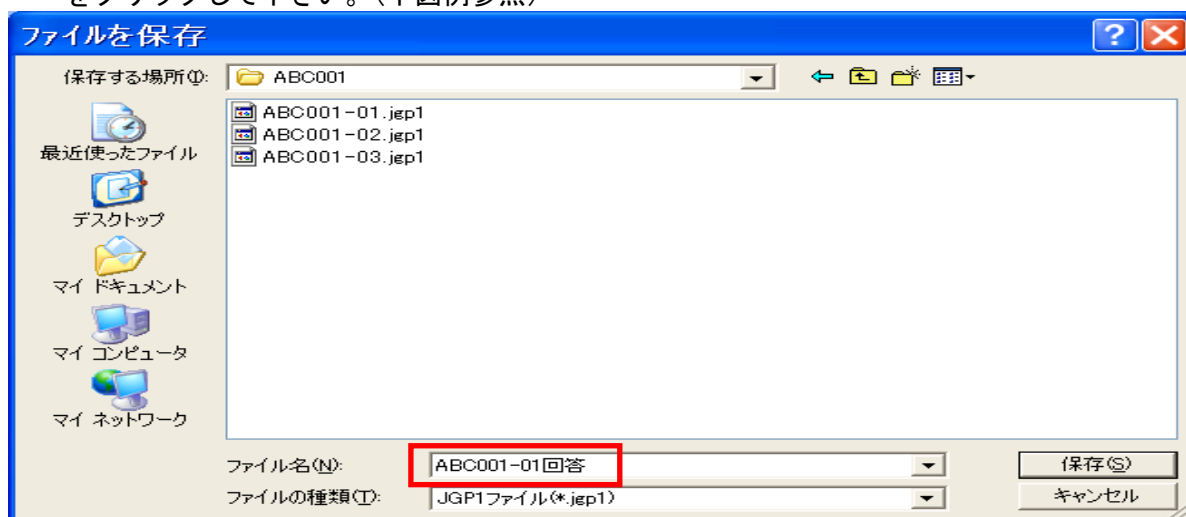
- ④ 画面上部の [SAVE JGP] ボタンをクリックすると、エラーチェックするかの表示が出ますので [はい] をクリックして下さい。(下図参照)
このエラーチェックでは基本情報、製品・部品・材料情報および化学物質含有情報の両画面のチェックを行います。



注意事項：エラーチェックを実行しないで SAVE JGP を行う場合には、JGP ファイルの出力条件を確認して下さい。詳しくは 6 ページの 4.3 の注意事項を参照。

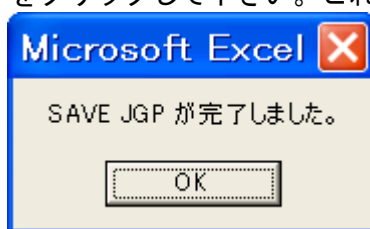
- ⑤ エラーチェックで問題がなければ保存するファイルを指定する画面が出ます。(下図参照)
(エラーがあった場合にはエラー内容を修正して、再び [SAVE JGP] をクリックして下さい。)

- ・ 保存する場所でフォルダを選び、ファイル名に保存するファイルの名称を入力し、[保存] をクリックして下さい。(下図例参照)



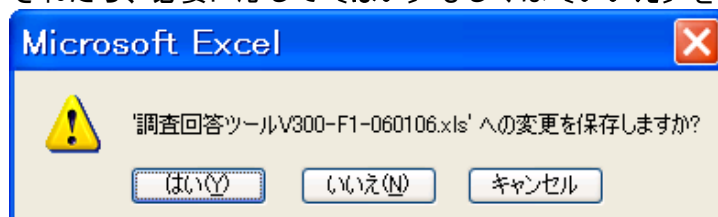
(注) 上図の様にファイルの種類は、フォーマット 1 (標準型) では JGP1 が自動的に設定されます。フォーマット 2 (詳細型) では JGP2 が自動的に設定されます。

下図が表示されたら [OK] をクリックして下さい。これで JGP ファイルの保存が完了です。



5.6 調査回答ツールの終了

ツールバーから“ファイル” → “終了”、または“閉じる”を選択して下さい。
以下の画面が表示されたら、必要に応じて [はい] もしくは [いいえ] をクリックして下さい。



5.7 JGP ファイルを依頼元へ送る

回答データが入力された JGP ファイルを電子メール等を用いて依頼元へ送ります。

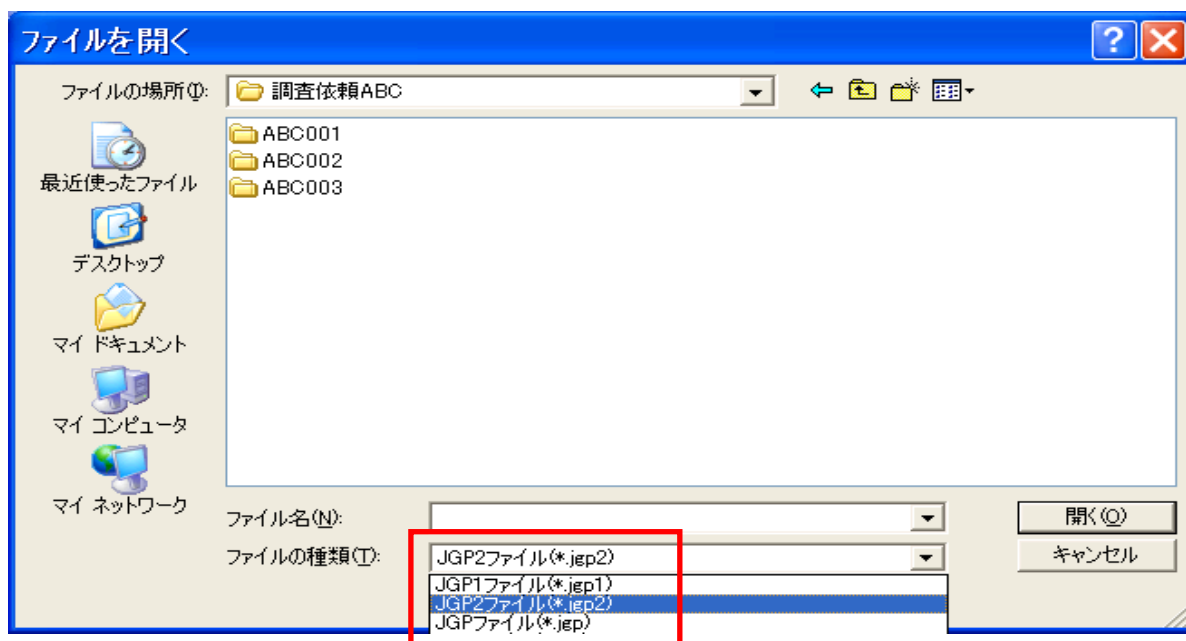
(注) 原則として依頼元と回答元のデータ交換は JGP ファイルを使用して下さい。

6. フォーマット 2 (詳細型) からフォーマット 1 (標準型) へのデータコンバート

6.1 データコンバート (詳細型⇒標準型) 方法

(詳細型) JGP2 ファイルのデータを (標準型) JGP1 ファイルへデータコンバートするためにはフォーマット 1 (標準型) ツールで JGP2 ファイルを読み込みます。この場合には [LOAD JGP] の際のファイルの種類を JGP2 に設定し JGP2 ファイルを読み込んで下さい。

[LOAD JGP] をクリックすると下図の「ファイルを開く」の画面が表示されます。ファイルの種類で JGP2 ファイルを選択します。次にフォルダから拡張子 jgp2 のファイルを選択し [開く] をクリックして下さい。



下図が表示され [OK] をクリックすると JGP2 ファイルが読み込まれます。



6.2 データコンバート (詳細型⇒標準型) の制約条件

調査回答ツール (標準型) で読み込まれる (詳細型) の JGP2 ファイルのデータには制約があり、データコンバートは以下の条件で実行されます。

- 1) 標準型ツールで、詳細型のデータを読み込む場合にコンバートを行なう。
- 2) コンバートは、物質群単位行、使用用途・部位単位行について行なう。
基本情報行 1、基本情報行 2、基本情報行 3、部品単位行はそのまま読みこむ。
- 3) 物質群単位行
 - ・総含有量は、記載された含有量を各物質群ごとに合計した値とする。
 - ・含有化学物資に関する追記事項は、同じ使用用途分類ごとに、記載内容を読み込み順に連結する。(最大 80 Byte で以降は切り捨て) *1、*2
- 4) 使用用途・部品単位行
 - ・使用用途・目的、使用部位は同じ使用用途分類ごとに内容を読み込み順に連結する。(最大 80 Byte で以降は切り捨て) *1、*2
 - ・含有率は、同じ使用用途分類の内での最大値とする。

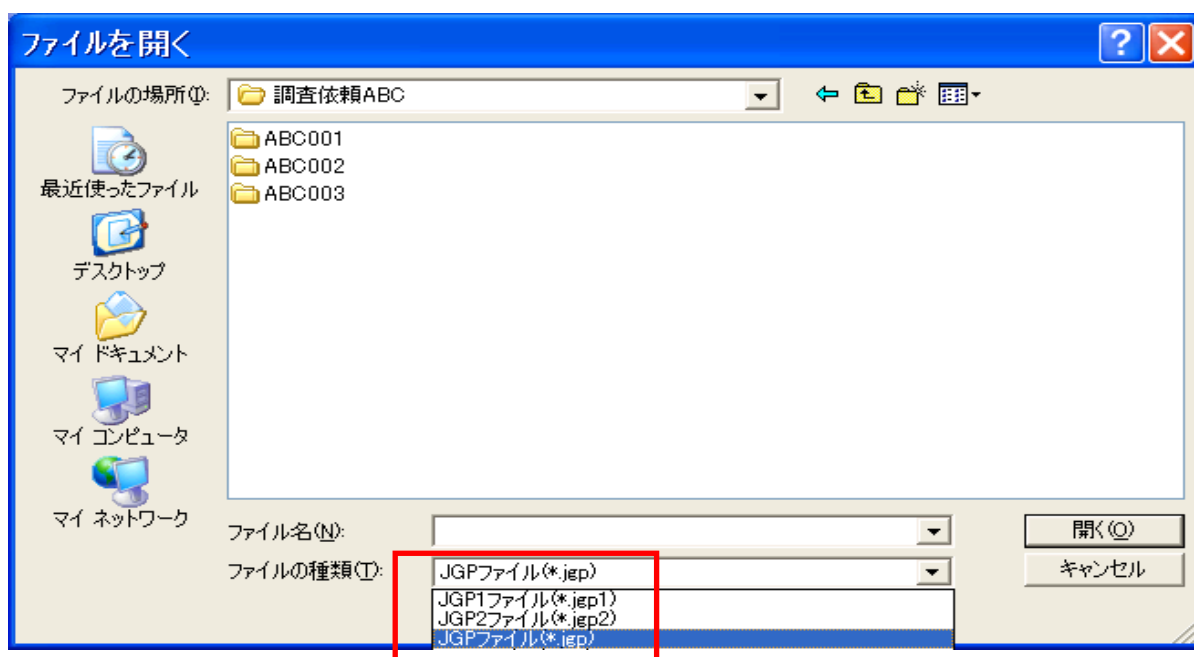
*1: 連結時にデータ間には「,」（半角 1 Byte のカンマ）を入れる。

*2: 切捨て時は、末尾 2 Byte を「>>」（半角 1 Byte の大なり記号を 2 つ）にする。

7. 旧フォーマットデータ (Ver1, Ver2 の JGP ファイル) の読み込み

Ver3 調査回答ツール（標準型）、（詳細型）共に Ver1, Ver2 の調査回答ツールで作成された JGP ファイルのデータを読み込む事が出来ます。（読み込みデータの制限あり）
この場合には[LOAD JGP]の際のファイルの種類を JGP に設定し JGP ファイルを読み込んで下さい。

[LOAD JGP] をクリックすると下図の「ファイルを開く」の画面が表示されます。
ファイルの種類で JGP ファイルを選択します。 次にフォルダから拡張子 jpg のファイルを選択し [開く] をクリックして下さい。



下図が表示されます。[OK] ボタンをクリックして下さい。
旧フォーマットデータが読み込まれます。



(注) 読み込めるデータには制限があります。

基本情報、調査アイテムの情報は読み込めますが、含有化学物質情報で読み込むのは旧フォーマットデータの含有量(mg)のみです。
 (旧フォーマットデータ中の含有量自動と含有量手入力のデータは、値の大きい方を総含有量として読み込みます。)

8. その他の各種ボタンの機能

8.1 [Copy] (下図参照)

Copy ボタンをクリックし、この行の対象アイテムの下位のデータ (含有化学物質情報) のみを他の行の対象アイテムにコピーする事ができます。

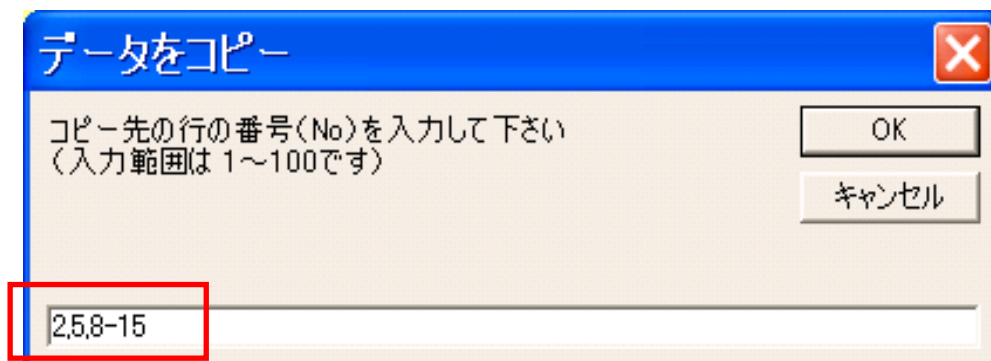
調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
個	2500.000	N	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear

操作方法：

コピーしたいデータ行の [Copy] ボタンをクリックし、下図の例のようにコピー先の行番号を入力して [OK] をクリックして下さい。

コピー先の行番号は、個別行および連続行で指定する事が出来ます。個別行は半角カンマで区切り、連続行は半角ハイフンを入れます。

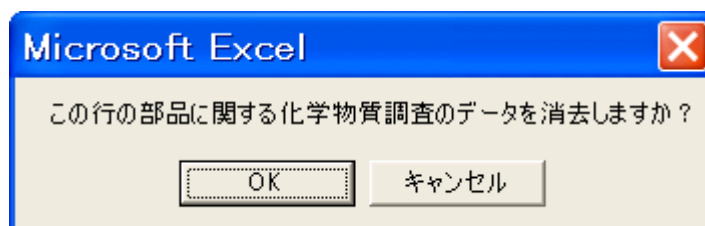
【2行目、5行目および8行目から15行目に同じデータをコピーする場合の入力例】



8.2 [Clear]

Clear ボタンをクリックすると下記の表示が現れ、[OK] をクリックすると、この行の対象アイテムの下位のデータ（含有化学物質情報）のみを消去することができます。

調査単位	調査単位質量 (g/調査単位)	含有総合判定	化学物質 情報入力	化学物質 データコピー	化学物質 データ消去
個	2500.000	N	Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear
			Input	Copy	Clear



8.3 [昇順]・[降順]（各調査対象アイテム、含有総合判定の並べ替え）

下図の様に、各項目の [昇順]・[降順] のボタンをクリックし並べ替えを行う事ができます

No.	依頼元の 製品/部品の番号	依頼元の 製品/部品/材料の名称	メーカー名	回答元の製品/ 部品/材料の番号	含有総合判定
1					
2					
3					

8.4 [並べ替え]

並べ替え画面を表示し、並べ替えを行います。

上記 8.3 の項目以外の調査対象アイテムをキーにした並べ替えが出来ます。

下図の例の様に並べ替えのキーをプルダウンメニューから選択して下さい。三番目まで優先順位のキーを設定できます。昇順、降順も選択し [OK] をクリックして下さい。

【入力例】

並べ替え

最優先されるキー
 昇順 降順

2 番目に優先されるキー
 昇順 降順

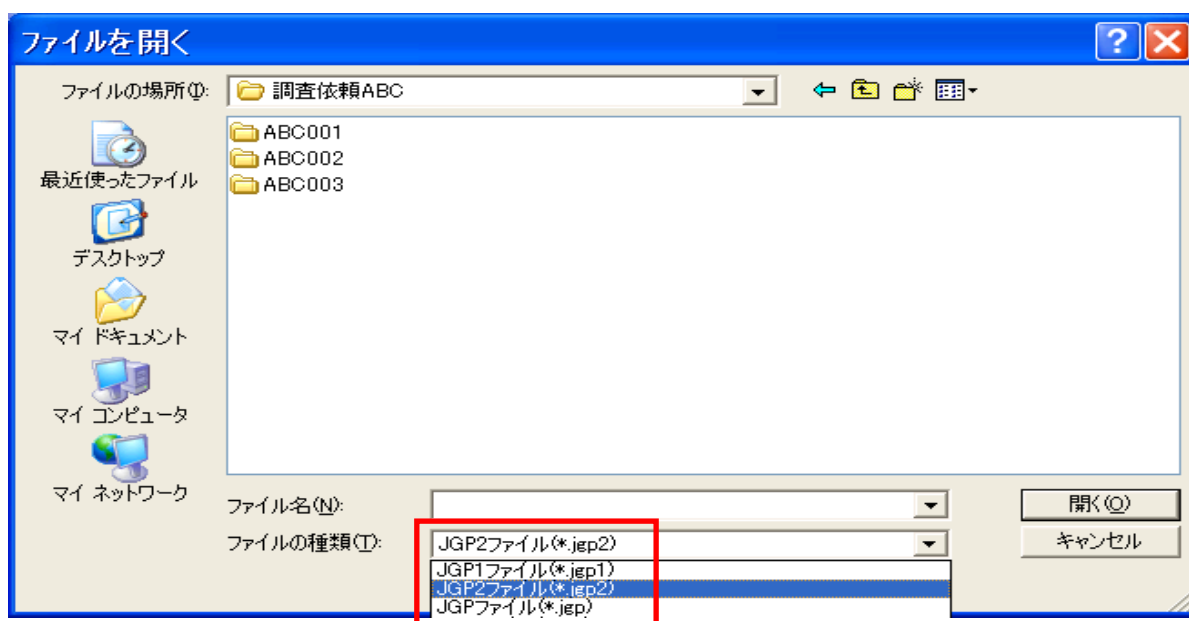
3 番目に優先されるキー
 昇順 降順

OK CANCEL

8.5 [ADD JGP]

JGP ファイルの追加読み込みを行います。ファイル指定画面より読み込む JGP ファイルを指定します。基本情報は読み込みません。

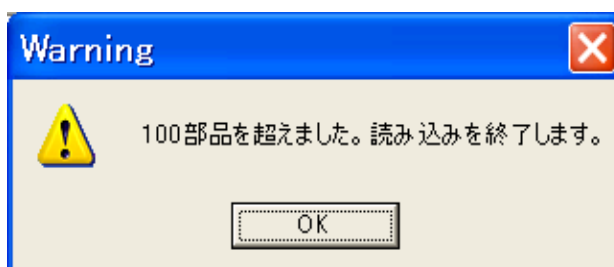
下図の例のようにファイルの種類とファイル名を選択して「開く」をクリックします。



既に部品のデータがある場合、No. の最大の行の次の行から読み込みます。

(注) No. 100 に入力データが存在する場合には、実行しません。下記が表示されます。

また、追加した合計点数が 100 を超えた場合は、100 点までのデータは読み込まれますが、残りのデータは無視されます。この場合も下記が表示されます。



8.6 [見出し変更]

このボタンで下図の入力例のように見出し変更の画面に切り替わり、項目見出しを設定する事が出来ます。(依頼元管理項目、依頼元項目、回答元項目)

- ・依頼元管理項目 1～3 は依頼元に関する追加情報を記載し、依頼元の設定に基づき使用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。(使用例：部門コード、拠点コードなど)
- ・依頼元管理項目 4～6 は依頼元で設定し、依頼元が回答元に関する情報を管理するために使用します。それ以外の目的では使用しないで下さい。(使用例：取引先名、取引先コードなど)
- ・回答元項目 1～3 は回答元が使用します。(回答元のメモ)

(注) 見出し変更画面で入力したデータは JGP ファイルには反映されません。

入力したデータはツールには保存され、入力した内容が画面で表示されます。そのため各依頼元毎にツールを別のファイル名に変えて保存しておくことをお勧めします。

【入力例】

基本情報			
依頼元管理項目1	部門コード	依頼元管理項目4	取引先コード
依頼元管理項目2	拠点コード	依頼元管理項目5	
依頼元管理項目3		依頼元管理項目6	
製品・部品・材料情報			
依頼元項目1	XYZ	回答元項目1	
依頼元項目2	〇〇〇	回答元項目2	
依頼元項目3		回答元項目3	

【ツールの画面の表示例】（上記例の結果として部門コードと拠点コードが表示されています。）

基本情報

整理番号		データフォーマットVer	3.21
依頼元記入日(YYYY/MM/DD)			
依頼元に関する情報		英語	日本語
会社名			
DUNSナンバー			
部署名			
担当者名			
電話番号(担当者連絡先)			
FAX番号			
E-MAILアドレス			
依頼元管理項目1	部門コード		
依頼元管理項目2	拠点コード		
依頼元管理項目3			

8.7 [部品一覧印刷]

基本情報がある画面のこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。基本情報/製品・部品・材料情報を印刷します。

8.8 [印刷]

含有化学物質情報の画面にあるこのボタンをクリックすると、印刷プレビューを表示し印刷を行います。表示している画面の含有化学物質情報を印刷します。

8.9 [エラーチェック] (基本情報画面の場合)

入力データのエラーチェックを実行します。基本情報/製品・部品・材料情報調査と含有化学物質調査の内容のチェックを行います。エラー、ワーニングがあった場合はエラー画面を表示します。エラー、ワーニングが無かった場合には下図の表示をします。



8.10 [エラー確認] (基本情報画面の場合)

エラーチェックの結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

8.11 [エラーチェック] (含有化学物質情報画面の場合)

入力データのエラーチェックを実行します。表示している含有化学物質調査の内容のチェックを行います。エラー、ワーニングが有った場合はエラー画面を表示します。

8.12 [エラー確認] (含有化学物質情報画面の場合)

エラーチェックの結果内容を表示します。このボタンではエラーチェックの実行はせず、既に実行済みのエラーチェックの結果を表示します。

8.13 [CANCEL] (含有化学物質情報画面)

入力した内容を破棄して、基本情報/製品・部品・材料情報の画面に戻ります。基本情報/製品・部品・材料情報の画面から含有化学物質情報に移った時点の内容に戻ります。